

令和3年度第1回宇治市地域福祉推進委員会 事前質問まとめ

資料4

資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
資料2	2	「年齢別でみると、他に比べ、20歳未満、 20歳代、60歳代 で「男性」の割合が高くなっています。」に修正	可能な限り全体の統一性を保ちつつ、分かりやすい形になるよう、委員長と調整させていただきます。
	9	「平盛小学校区で 5年～10年未満 の割合が高くなっています」に修正	
	13	「30歳代、 40歳代 で「子育て」の割合が、」に修正	
	16	「夫婦のみ、 その他 で「はい」の割合が高く」に修正	
	18	「夫婦のみ、 その他 で「はい」の割合が高く」に修正	
	26	「また、 20歳未満 、30歳代で「話し相手」の割合が、30歳代、40歳代で 短時間の子どもの預かり 」「子どもの送り迎え」の割合が高くなっています。」に修正	
	30	「また、他に比べ、 20歳代 で「仕事のこと」、30歳代で「育児のこと」の割合が」に修正	
	31	「また、20歳代で「 仕事のこと 」「 収入のこと 」が増加する一方、「特にない」の割合が減少しています」に修正	
	43	「また、 家族従業者、パート・アルバイト 、自営業主(雇人なし)で「過去に活動に参加したことがある」の割合」に修正	
	45	「正規の職員・従業員、学生で「参加したことはない」の割合が高く、7割を超えています」に修正	
	48	「 30年以上 、10年～30年未満で「過去に活動に参加したことがある」の割合が高くなっています」に修正	
	40～53	平成21年度調査との比較において、各活動の「参加したことはない」の割合が減少していると評価されているが、「無回答」が令和2年度調査では大幅に増えており、一概に「参加したことはない」の割合が減少していると評価することはできないのではないかと。	
	55	平成21年度調査では、「今後活動に参加してみたい(継続も含む)」という回答項目であり、「今後活動したい」とは、ニュアンスが異なる。また、データも「不明を除いたデータ」を比較対象としており、適切ではない。	
	59	『d. 町内会に関する活動』で「今後は(も)活動に参加したい」の割合が高くなっています」と評価されているが、15%という数値であり、割合が高くなっているとはいえない。「わからない」「無回答」が8割程度と圧倒的に多く、せいぜい、「割合が15.0%になっています」としてはどうか。	

令和3年度第1回宇治市地域福祉推進委員会 事前質問まとめ

資料4

資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
15	63	3行目の「ん」を削除	可能な限り全体の統一性を保ちつつ、分かりやすい形になるよう、委員長と調整させていただきます。
16	67	「20歳未満で「今後は(も)活動に参加したい」の割合が高くなっています」と評価されているが、10.5%では、「高くなっています」といえないのではないか。	
17	80	「 その他 」の割合が 29.2% と最も高く、次いで「特にきっかけや理由はない」の割合が24.5%」に修正	
18	82	「子育て支援に関する活動、 教育・文化・スポーツの振興に関する活動 」で「友人に誘われたから」の割合が高くなっています」に修正	
19	92	「また、 自営業主(雇人あり) 、家族従業者で「そう思わない」の割合が高くなっています」に修正	
20	101	『①学区福祉委員会』で活動に参加したり、事業を利用している(したことがある)の割合が高くなっています。」とされているが、10.9%しかなく、割合が高いとはいえない。また、②『民生児童委員』で活動に参加したり、事業を利用したことはない」の割合が高くなっています」とされているが、学区福祉委員会も社会福祉協議会も80%を超えており、いずれも高い。割合が高いとか評価をせず、数値をそのまま記載してはどうか。	
21	107	『30歳未満』で「0人」の割合が高くなっています」とされているが、14.3%決して高いとは言えない数値である。	

令和3年度第1回宇治市地域福祉推進委員会 事前質問まとめ

資料4

資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
22	2	5行目からの2段落目の文中に「コロナ禍もたらした社会変容として、個人のライフスタイルや価値観・考え方などが変化した」といった内容を加えてはどうかと思います。	全体のバランスを考慮しながら、追加の仕方について検討します。
23	3	令和3年に成立した「デジタル改革関連法」を記載してはどうか考えます。趣旨の一つに「急速な少子高齢化への対応」も含まれているところによるものです。また、国が言う「誰ひとり取り残さない、人に優しいデジタル社会の実現」に向け、高齢者等へのきめ細かいサポートは不可欠になると考えます。	全体のバランスを考慮しながら、追加の仕方について検討します。
24	3	平成28年施行分に「成年後見制度利用促進法」の記載は必要ないでしょうか。	全体のバランスを考慮しながら、追加の仕方について検討します。
25	14	『宇治市の概況(1)人口 年齢4区分』 どのような区分か当日配布の文書でわかりますが、従来の生産年齢人口、高齢人口の分布だけでは今後の確かな検討に困難があります。	R2国勢調査の調査結果の公表後、直ちに修正をします。 今後、さらに必要なデータ等があれば追加を検討します。
26	資料3 16	高齢者支援に「介護予防」「フレイル対策」「健康寿命」等のキーワードを入れてはどうでしょうか。	全体のバランスを考慮しながら、追加の仕方について検討します。
27	17	以下のとおりの文章の追加を提案します。 ・文末の段落の最初の行に挿入「地域福祉の担い手不足と高齢化が課題となって…」 ・最終行に追加「趣味のグループでリクルートする」「若い世代に向けての情報発信」などの実践が…	全体のバランスを考慮しながら、追加の仕方について検討します。
28	16～17	「2地域福祉の現状と課題」(1)「第2期計画期間中の宇治市の状況および地域福祉の推進状況」の記述において、「高齢者支援、子育て支援、自殺対策、ひきこもりの支援」と「民生委員・児童委員や学区福祉委員の担い手不足」のみが取り上げられているが、実際には、障害者支援や生活困窮者支援、子どもの貧困対策などの施策もされているはずであり、簡単でもいいので、そうした施策にも取り組んでいることや課題となっていることについても記述すべきと考える。	全体のバランスを考慮しながら、追加の仕方について検討します。
29	19	『安全・安心に暮らせるまちづくり』 ・災害時の被害 ・地域により防災・防犯の支援 地域での取り組みも違うが、具体的にどのように連携していくかを明示すべきでは？ 向こう三軒両隣の取り組み方	いただいたご意見を踏まえたうえで具体的にどのような取り組みを進めていくか、＜地域福祉推進のプログラム＞等において今後検討を進めます。
30	19	『(2)2各種予防事業に積極的に』 災害予防、犯罪予防等と介護予防、認知症予防と同列に言うことに疑問があります。後者については、不用意な使用は正しい理解を妨げるおそれがあります。	次期計画の具体的な取り組みの中で、書き方を検討していきます。

令和3年度第1回宇治市地域福祉推進委員会 事前質問まとめ

資料4

資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
31	19	『(3)7計画的なバリアフリー』 歩行困難・障害者にとっての基本的人権としての「移動権」への言及が無いのはバリアフリー理念から不可解。	次期計画の具体的な取り組みの中で、書き方を検討していきます。
32	19	『(4)要援護者』 過度なプライバシー保護が要援護者名簿作成を妨げているのではないのでしょうか。	いただいたご意見を踏まえたうえで具体的にどのような取り組みを進めていくか、＜地域福祉推進のプログラム＞等において今後検討を進めます。
33	20	『地域福祉活動への住民参画の推進』 どうすれば住民参画できるのか。具体策も明示すべきでは？	いただいたご意見を踏まえたうえで具体的にどのような取り組みを進めていくか、＜地域福祉推進のプログラム＞等において今後検討を進めます。
34	20	『(5)拠点としての施設活用』 地域福祉の拠点としての公民館、コミュニティセンター、地域福祉センター、集会所など適切な場の適正配置が必要ではないか	いただいたご意見を踏まえたうえで具体的にどのような取り組みを進めていくか、＜地域福祉推進のプログラム＞等において今後検討を進めます。
35	24	『3宇治市の課題』 1～5まで弱体化が指摘されいづれも尤もな課題であるが、 前期、前々期はどうであったのか？同様な傾向があったのならば、その低下傾向の度合いは、 またどのような改善努力がなされたのか、その問題点は？ 全市域的に見ればむしろ向上した地域は無いのか、もしあれば、少しでもその事例を活用できないか。	アンケート調査結果の前回比較から、前回からの変化度合いについて把握しています。 また、改善努力については各課や関係団体にて実施された事業であり、毎年『推進のめやす』にて進行管理を行ってきました。 なお、今回は地域ごとの分析を行っておりません。
36	24	枕詞のようなものとなっている「人口減少社会」「少子高齢化社会」に対応していく前提として、課題を見据えるような文面も追記してはどうかと思います。	課題を見据えた文面については、P.25～29において、各課題ごとに記載しています。

令和3年度第1回宇治市地域福祉推進委員会 事前質問まとめ

資料4

資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
37	25	住民アンケートの調査結果について、平成21年度と令和2年度の比較が行われているが、令和2年度において、「無回答」が14.2%から31.5%に大幅に増えており、データの評価を困難にしている。このデータの比較から「町内会・自治会」への活動が低下したと言いつけるのかどうか、疑問である。そもそも、自治振興課が把握している資料では、「町内会・自治会」の組織率がこの10年でかなり減っており、そうした結果も踏まえて「町内会・自治会等における地域力の低下」を記述すべきと考える。また、前回の推進委員会で議論になったように高齢化等で担い手が地域で不足する中で「町内会・自治会の活動の大切さへの理解を深め、支え合い活動を促進する」だけでいいのかどうか、NPOなどの活用などもっと幅広い議論を投げかけるべきではないか。	自治振興課が策定した「地域コミュニティ再編計画」に掲載されている「町内会・自治会の加入率」のグラフを参考にし、記載の仕方を検討します。また、いただいたご意見を踏まえたうえで具体的にどのような取り組みを進めていくか、＜地域福祉推進のプログラム＞等において今後検討を進めます。
38	26	「多様化する分野間の連携不足」について、地域福祉の課題が「複雑化・複合化」しているとの指摘は、そのとおりだと思うが、行政や支援機関が連携すればいいのか、重層的な支援体制の整備が求められているというだけでは、「解決」にはなかなか向かわないのではないかと。「個人情報のカベ」の問題も含めて市民との情報の共有化などもっと踏み込んだ対策をとっていく必要があると考える。	いただいたご意見を踏まえたうえで具体的にどのような取り組みを進めていくか、＜地域福祉推進のプログラム＞等において今後検討を進めます。
資料3 39	25,27	『1, 町内会自治会等における地域力の低下／3, 地域福祉活動への参加者の減少』 両者共に、 ①会員や対象とする人々のニーズの理解を進めようとする発想・努力が欠けているのではないかと。 ②年間事業計画も前例主義に陥っていないか。 ③社会福祉協議会や学区福祉委員会が単一の当事者組織や喜老会のような包括的当事者組織が地域において果たしている状況を理解し協力してはどうか。例えば高齢化している福祉委員は喜老会に加入し、或いは空白地域に組織を立ち上げるなど相互に知恵を出し汗をかくことが活性化につながらないか。 ④熱海の土石流事故を教訓として、民生委員、福祉委員、地域喜老会世話人が、地域防災安全会が苦慮している要援護者名簿の作成に率先協力し、名簿記載をためらう人に寄り添うなどできるのではないかと。 ⑤千葉県八街市の痛ましい事件を教訓として地域を挙げて通学路の安全点検を行うことが地域の福祉力を高めることとなる。	いただいたご意見を踏まえたうえで具体的にどのような取り組みを進めていくか、＜地域福祉推進のプログラム＞等において今後検討を進めます。
40	29	9行目～「さらに高齢者や障害者等にデジタル格差を生じさせない分かりやすい情報活用・提供の工夫と支援が必要です。」としてはどうでしょうか。	全体のバランスを考慮しながら、追加の仕方について検討します。
41	27～29	地域福祉活動のすそ野をどのように広げていくのか、はこの地域福祉計画の「キモ」だと思う。「参加意欲がある人への情報提供」とか、「退職者への働きかけや気軽に参加できる環境づくり」とか、別に否定するつもりはないが、それだけでは、今の状況は変えられないと思う。他の自治体の事例では、例えば豊中市が生活困窮者の支援ネットワークで4000人の登録者があるとか、「地域協働コーディネーター」が地域の知り合い100人に個別に声掛けして「地域ボランティア」を増やすような「大作戦」でもしないと地域福祉の担い手は増えないのではないかと。	いただいたご意見を踏まえたうえで具体的にどのような取り組みを進めていくか、＜地域福祉推進のプログラム＞等において今後検討を進めます。

令和3年度第1回宇治市地域福祉推進委員会 事前質問まとめ

資料4

資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
42	31	『地域福祉推進の基本的視点』 Ⅰ 人権尊重、Ⅱ 住民主体、Ⅲ 福祉文化の創造、 重要な3点であるが、何故、ⅠとⅡの文章が同一なのか、まったく理解できません。細かな説明文を読めば、1とⅡの違いが明白ですが。 また、当たり前前に暮らせる、当たり前前の意味は何でしょう。人それぞれ異なる暮らし方、それを認め合うと理解してよろしいか。また、この文には全く句読点がありません。文章の強弱のリズムが読み取れません。 1の説明文の、「障害の種別軽重」の軽重の意味をお教えてください。 Ⅱの「自己実現をしたい」は、自分の経験など何かお役に立てれば、これを生きがいとしたい、と解釈していいのでしょうか。「自己実現」などと陳腐な用語を使うことはないでしょう。 Ⅲ「風土をいかしうるおいのある個性的な地域福祉の創造」は、「風土をいかし、特色ある個性的な」でいいのではないのでしょうか。「いかし」とわざわざ平仮名にし、「うるおいある個性的な」もなんとなくわかるのですが。	事前送付資料については、記載ミスにつきⅠとⅡの内容が同じになっています。 基本的視点については、現時点では第2期計画と同内容を記載しておりますが、基本的な考え方は継続しつつ、新しい時代の変化に対応した表現を踏まえたものにしていきたいと考えています。
43	資料3 31	下から3行目からの文章に「培う」という文言が2つ使われており、はじめの「これまで培われてきた」を削除する又は、次の行の「培ってきた」を違った文言とする、の変更をしてはどうかと考えます	基本的視点については、現時点では第2期計画と同内容を記載しておりますが、基本的な考え方は継続しつつ、新しい時代の変化に対応した表現を踏まえたものにしていきたいと考えています。
44	32	『推進の指針』 示された文章は、以下のようにまとめていいのでしょうか。 地域福祉計画は、 ①活動を自発的に行う住民 ②社会福祉に関する活動を行う人々 ③福祉サービス事業者 ④社会福祉協議会 ⑤行政 の5者による協働 私はそうではない、そうあってはならないと考えます。 ①活動を自発的に行う住民が、周囲の人々と語り合い主体的に創り上げる。 そして②～⑤の人々が、専門的、多方面からの支援を行い、より適切な計画に高める。 大切なことは、住民主体です。	5者の協働については、左記①～⑤の5者が相互連携・協働して地域福祉の推進を図るという考え方であり、第1期、第2期計画と継続してきたものです。 なお、あくまでもこの5者が地域福祉推進の担い手であることを指しているものであり、『住民主体』を否定するものではありませんが、基本的な考え方は継続しつつ、新しい時代の変化に対応した表現を踏まえたものにしていきたいと考えています。